

三重県四日市市		●活動名 四日市市立四郷小学校コミュニティスクール運営協議会 (くろがねもち協議会)			●関係する学校名 四日市市立四郷小学校		
協働活動開始年度	平成 22 年度	学校運営協議会	指定・設置日 平成22年4月1日指定	地域学校協働本部	無		
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 13人		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 47人			
ボランティアの数	延べ登録人数 40人	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無		
参考URL	二						
●連絡先	四日市市立四郷小学校			☎ 059-320-2070			



5世伊藤小左衛門氏銅像

- 活動の概要・経緯
- 組織・運営 運営協議会 年間5回開催
 - 活動内容
 - ・四日市市立四郷小学校コミュニティスクール運営協議会委員及び地域の方、PTAの方による参加参画型教育活動。
 - …5つのボランティア組織体制の整備(学習支援・図書・クラブ・交通安全・環境)
 - ・運営協議会による学校・通学路等、安全点検の取組。
 - ・地域学校合同防災訓練の取組。
 - ・学校・家庭・地域合同の夜間パトロールや地区行事への積極的な参加。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ・人・伝統・自然をキーワードに、①ふるさと四郷の歴史や文化を知る②四郷の人々とふれあい、生きざまを見つめる③自然災害や交通事故から自分の命を守る、の3つの体験学習の充実を図っている。
- ・本校創始者である5世伊藤小左衛門氏の生きざまについて全学年で取り上げ、道徳科や社会科で学習している。
- ・地域の方々は、四郷っ子的のために一生懸命かかわってくださり、登下校時や授業等を通して様々な人々とふれあうことができている。
- 例：3・4年生と四郷消防分団・四郷地区郷土資料館の皆さん、伝統芸能クラブの子どもたちと郷土資料館保存会の皆さん等

【実施に当たっての工夫】

- ・郷土資料館保存会の皆さんを講師に迎え、教職員対象の研修会を毎年資料館で開催し、まず教職員が四郷を知ることが大切になっている。
- ・本校は高台に位置しているため、災害時の避難所指定を受けており、昭和49年の水害以降防災訓練が盛んである。年1回、地域自治会と学校共催で、地域住民、本校児童、近隣園・中学校参画の合同防災訓練を行っているため、児童の防災・避難意識は高い。

【関係機関・団体等との連携状況】

- ・四郷消防分団、四郷地区郷土資料館の皆さんと3・4年生見学指導
- ・高齢者施設「四季の里オーロラ」の皆さんと2年生交流会
- ・四郷地区三大祭り保存会による伝統芸能クラブ指導
- ・交通ボランティアと1年生交流会と安全指導
- ・本校園芸委員会から、資料館等近隣施設へのお花寄付
- ・四郷消防分団の皆さんから教職員への救命講習指導

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・発足から10年が経過し、児童が地域の方から学び、地域とつながりを深め、地域を大切にする気持ちを育むことにつながっている。「挨拶を進んで行う子」、「お礼の手紙を渡す子(卒業前に6年生より)」など、挨拶について全国学力・学習状況調査結果では肯定回答が増え、今年度も学校独自で6年生を対象にいじめ調査を実施したところ、いじめを肯定する児童は0%と、人を大切にする姿勢が見られた。
- ・通学路においては、自動車の通行数も多く危険な場所も多いが、幸い大きな交通事故もなく、大阪北部地震(平成30年)の際も、児童が「自分で自分の身を守ること」ができる児童の姿も見えてきた。
- ・夏休み自由研究では、地域をテーマ(伊藤小左衛門氏、三大祭り、あすなろう鉄道、交通安全等)に扱う児童が増え、力作も多い。

● その他

- ・教職員による校区の写真ガイドマップを作成・掲示したり、PTA広報部による地域をテーマにした特集記事掲載や表紙写真を飾ったりするなど、子どもを取り巻く周囲の大人がより地域を意識し、貢献し、自ら発信できるようになってきた。



地区・学校合同防災訓練



四郷地区郷土資料館見学